

# 第2回協議会におけるご意見等について

---

総合政策局 共生社会政策課

- 令和7年12月19日(金)に開催された第2回協議会におけるご意見及び協議会終了後にいただいたご意見は以下のとおりであり、多岐にわたるご意見をいただいた。

分類	意見内容
対象等の明確化	<ul style="list-style-type: none"><li>・ ガイドラインの<b>対象者を明確にすべき</b>ではないか。</li><li>・ ガイドラインに<b>法的な拘束力がないことについて明確にすべき</b>ではないか。</li></ul>
利用実態の周知	<ul style="list-style-type: none"><li>・ <b>フロアの種類によりトイレの利用者数が大きく変わる</b>ことや、<b>施設の利用の仕方が変化したことにより特定のフロアのトイレに利用が集中すること</b>などの実態について、設計者は把握する必要があるのではないか。</li><li>・ 単に近くのトイレを利用するのではなく、<b>綺麗なトイレのために移動して利用する場合もある</b>。</li></ul>
設置数決定の困難性	<ul style="list-style-type: none"><li>・ 時間帯によりトイレの利用者数が異なる場合に、<b>どの時間帯を目安にどのくらいの利用者数をさばけるようにするのか決めるのは難しい</b>。</li></ul>
設備上の制約	<ul style="list-style-type: none"><li>・ <b>給排水の設備等を考慮すると簡単にトイレの設置数を増やすことはできない</b>ことも示した方がよいのではないか。</li></ul>
ニーズの多様化	<ul style="list-style-type: none"><li>・ ガイドラインは男女別トイレを前提とするものの、<b>障害のある方や性的マイノリティの方に対する取組</b>についても触れてほしい。</li></ul>
絶対待ち時間の水準	<ul style="list-style-type: none"><li>・ <b>絶対待ち時間をどのように設定するのか考える必要がある</b>のではないか。いくつかの水準が設けられ、それぞれどのくらい面積が必要になるのか示されると、合理的な水準が分かり、合意形成を図りやすくなるのではないか。</li></ul>

分類	意見内容
処理能力の定義	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 処理能力で議論を行うのであれば、その定義を示した方がよいのではないか。例えば、占有時間に加え、利用者の入れ替わりの時間も考慮する必要があるのではないか。</li> </ul>
男性用トイレの見直し	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 男女の待ち時間を平準化する際に、今までより男性が長く待つような基準となってもよいのか。</li> <li>・ 女性より男性の方がお腹が弱いという記事を見た。男性は外出中に排便することが多いと考えられる。この点はガイドラインでも考慮すべきではないか。</li> </ul>
実態調査等の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 実態調査の促進も必要であり、実態調査の方法についても示せるとよいのではないか。</li> <li>・ トイレの設計をする際には、施設の利用者や従業員の意見を聞くことも必要ではないか。</li> <li>・ 改修の際は実態調査を行うことができるが、新設の際はどのように検討したらよいか。</li> </ul>
データの収集・蓄積	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 各施設管理者におけるトイレの利用に関するデータが蓄積・共有されていくことが望ましい。</li> <li>・ データを公表するための秘匿化等には一定の時間と費用が必要となるため、データが蓄積・共有されるための環境が整備されればよいと考える。</li> </ul>
中長期的な視点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 新設や改修にあたっては、足元の状況のみで考えるのではなく、中長期的な視点で考える必要があることを強調したほうがよいのではないか。</li> </ul>
面積の柔軟な設定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ トイレの面積をフロアに応じて変えることも必要ではないか。</li> </ul>
行動変容の促進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ (株式会社バカンの取組について、) トイレの利用者に対して行動変容を促している点は今後の参考になるのではないか。</li> </ul>

分類	意見内容
待ち行列の位置	<ul style="list-style-type: none"> <li>待ち行列の位置について言及していただきたい。待ち行列の位置と個室の距離が遠いと、それだけで入れ替わりに多くの時間を要することになる。</li> </ul>
個室の利便性	<ul style="list-style-type: none"> <li>混雑緩和のためには、コート掛けや荷物置き場の設備を設けることが有効であると考える。</li> </ul>
周辺トイレとの連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>単体のトイレだけでなく、施設内におけるトイレの違いや施設毎のトイレの違いに着目した検討も必要ではないか。</li> <li>空いているトイレへ誘導する場合は、移動に要する時間などの情報を合わせて提供することも必要ではないか。</li> </ul>
位置情報の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>トイレの位置が分かるサービスが広がればよい。できるだけ複雑でないシステムが望ましい。</li> <li>イベント時の周辺トイレの位置をデジタル地図にマッピングしたことがある。トイレの利用者の動向を把握することができ、有効な取組であった。</li> </ul>
利用実態の詳細な把握	<ul style="list-style-type: none"> <li>ガイドラインの検討のためには、混雑、待ち状況の実態について詳細に把握することが必要ではないか。「どのような施設用途」の「どのような場面」で混雑が発生するのか。</li> </ul>
事例集の更新	<ul style="list-style-type: none"> <li>全て男女共用トイレとしている海外の事例があること等を踏まえ、今後は先進的な事例や斬新な事例についても紹介することを検討していただきたい。</li> </ul>
実態調査等への支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>実態調査に対する補助や公共調達等におけるインセンティブを設けることができないか。</li> <li>混雑する施設の周辺施設に対してトイレを利用できるようにしてほしいと働きかけをする際に、一定の補助金があれば働きかけやすくなるのではないか。</li> </ul>

- いただいたご意見について、ガイドライン（案）への反映を図った。いただいたご意見のうち、ガイドラインの内容が決定した後に検討を要するものや、現時点では対応が難しく調査等を要するものについては、本協議会終了後に引き続き検討を行う。
- 本協議会におけるご意見を踏まえ、とりまとめたガイドライン（案）については、パブリックコメントを実施する予定である。（令和8年3月中に実施予定）

章立て	第2回協議会におけるご意見 (p.1～3の分類を再整理)
はじめに	対象等の明確化
第1章 現状と課題	利用実態の周知、設置数決定の困難性 設備上の制約、ニーズの多様化
第2章 設置数の基準と適用のあり方	絶対待ち時間の水準、処理能力の定義 男性用トイレの見直し、実態調査等の促進 データの収集・蓄積、中長期的な視点
第3章 行列改善のための取組	面積の柔軟な設定、行動変容の促進 待ち行列の位置、個室の利便性 周辺トイレとの連携、位置情報の提供
むすびに	—
引き続き検討を要する事項	利用実態の詳細な把握、事例集の更新、実態調査等への支援